

「次世代資金決済システム検討ワーキンググループ」設置要綱

1. 目的・テーマ

昨年度の「次世代資金決済システムに関する検討タスクフォース」等の議論をもとに、資金移動業者の全銀システム参加、多頻度小口決済の利便性向上（ことらとの連携）、次期全銀システムの構築について、制度やシステム面に係る具体的な検討を行う。

なお、本ワーキンググループの検討状況等については、原則として対外公表するとともに、定期的にタスクフォースに報告する。

2. メンバー構成

学識者、弁護士、決済業種関係団体、資金移動業者、イノベーション識者、システム関連事業者、金融庁、日本銀行、銀行、小口決済インフラ（株式会社ことら）および全銀ネット事務局とする（名簿は別紙）。

また、検討内容等に応じて、外部有識者等が出席することもできる。

3. 設置期間

2022年4月11日から2023年3月31日までとする。

以 上

(別紙)

「次世代資金決済システム検討ワーキンググループ」メンバー名簿

カテゴリー	メンバー
学識者	明治大学 小早川 周司政治経済学部教授
弁護士	TMI 総合法律事務所 滝 琢磨弁護士
	長島・大野・常松法律事務所 須田 英明弁護士
決済業種関係団体	一般社団法人日本資金決済業協会
資金移動業者	株式会社 Kyash
	ワイズ・ペイメンツ・ジャパン株式会社
イノベーション識者	PwC あらた有限責任監査法人
	一般社団法人 Fintech 協会
システム関連事業者	アマゾンウェブサービスジャパン株式会社
	株式会社 NTT データ
	株式会社 日立製作所
	富士通株式会社
関係当局	金融庁 監督局
	日本銀行 決済機構局
銀行	株式会社みずほ銀行
	株式会社三菱 UFJ 銀行
	株式会社三井住友銀行
	株式会社静岡銀行
	株式会社福岡銀行
	株式会社北洋銀行
	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
	楽天銀行株式会社
	シティバンク、エヌ・エイ
	信金中央金庫
小口決済インフラ	株式会社ことら
事務局	一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク

以 上